

(案)

# 江別市生涯活躍のまち形成事業計画

[イメージ]

令和 年 月

北海道江別市

# 目次

<b>第1章 計画の基本理念</b> . . . . .	<b>2</b>
1. 計画の趣旨・位置付け . . . . .	2
2. 区域の設定 . . . . .	2
3. 関連計画等と本計画との関係 . . . . .	2
4. 計画策定の手続き . . . . .	2
5. 根拠法令 . . . . .	4
<b>第2章 計画対象地域における現状・課題</b> . . . . .	<b>5</b>
1. 現状 . . . . .	5
2. 課題 . . . . .	5
<b>第3章 計画対象地域における事業・取組</b> . . . . .	<b>6</b>
1. 全体概要 . . . . .	6
2. 事業実施地域の全体イメージ . . . . .	6
3. 個別の事業・取組内容 . . . . .	6
<b>第4章 計画に基づく特例</b> . . . . .	<b>9</b>
1. サービス付き高齢者向け住宅の入居要件の特例 . . . . .	9
<b>第5章 計画の成果目標の設定</b> . . . . .	<b>10</b>
1. 目標の設定 . . . . .	10
2. スケジュールについて . . . . .	11

# 第1章 計画の基本理念

## 1. 計画の趣旨・位置付け

すべての江別市民が市外に転出することなく、生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現を目指すため、若年層や高齢者、障がい者などを含めた多様な主体との交流を図るとともに、大学等の地域の特色ある地域資源を活用することで、様々な地域課題の解決に寄与する仕組みを構築。

## 2. 区域の設定

江別市の全域を想定。

## 3. 関連計画等との関係

第6次江別市総合計画に基づいた各分野の計画と連携・整合を図るとともに、江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略等と連動した取組となるよう留意。

## 4. 計画策定の手続き

本計画の策定にあたっては、江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会を設立。

### (1) 江別市生涯活躍のまち整備事業地域再生協議会の構成員

(令和元年 月 日現在)

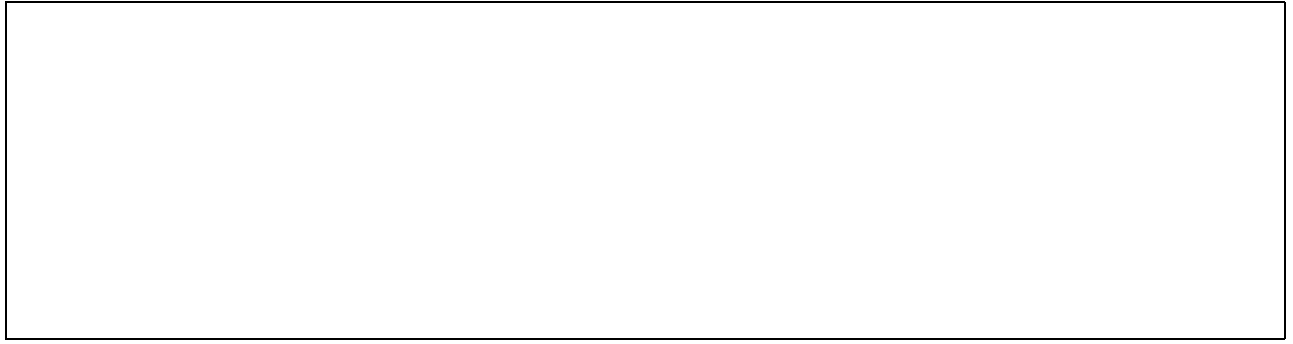
No.	区分	所属等	氏名
1	法第12条第2項第1号 (地方公共団体)	江別市企画政策部長	北川 裕治
2	法第12条第2項第2号 (地域再生推進法人)	社会福祉法人日本介護事業団参与	山田 宗親
3	法第12条第2項第3号 (事業の実施者)	酪農学園大学教授	金子 正美
4		札幌学院大学准教授	新田 雅子
5		北翔大学教授	尾形 良子
6		北海道情報大学准教授	藤本 直樹
7	法第12条第2項第4号 (密接な関係者)	江別市自治会連絡協議会理事	岩村 ヒロ子
8		江別市社会福祉協議会副会長	田原 久美子

9		江別市商店街振興組合連合会理事長	岸本 佳廣
10		江別市生涯学習推進協議会会長	谷川 幸雄
11		北洋銀行江別中央支店長	大鹿 琢
12		北海道銀行野幌支店長	腰原 久郎
13	法第12条第3項第2号 (その他必要と認める者)	公募市民	小林 徹男
14		公募市民	赤川 和子
15	法第17条の14第2項 (都道府県知事)	北海道石狩振興局地域創生部 地域政策課長	栗重 理香

## (2) 協議会の開催実績等

区分等	開催日・場所	内容等
令和元年度 (第1回)	令和元年6月25日 江別市民会館21号	①地域再生協議会設置について ②会長の互選及び会長代理の指名について ③江別版「生涯活躍のまち」構想の概要について
令和元年度 (第2回)	令和元年9月26日 江別市民会館31号	① ②
令和元年度 (第3回)	令和元年 月 日 江別市民会館 号	① ②
令和元年度 (第4回)	令和元年 月 日 江別市民会館 号	① ②
令和元年度 (第5回)	令和元年 月 日 江別市民会館 号	① ②

## (3) 協議会の際に出た主な意見



## 5. 根拠法令

本計画は、法 17 条の 24 第 1 項に基づき作成する。

## 第2章 計画対象地域における現状・課題

### 1. 現状

#### 【地勢】

江別市は、石狩平野の中央部に位置し、大都市札幌市に隣接したまちで全体的に平坦な地形である。市内には日本三大河川のひとつである石狩川が流れ、平地原生林である野幌森林公園があり、都市機能と自然が調和したまち。

#### 【人口】

市制施行当時の1954年（昭和29年）に35,000人程度であった人口は、大規模な団地開発・宅地造成を経て、1967年（昭和42年）には5万人、1992年（平成4年）には10万人を突破、2005年（平成17年）には126,501人とピークに達し、2015年（平成27年）では約12万人。

#### 【産業】

江別市では、全国の3分の1以上のれんがを生産しており、国内有数のれんがの生産地。

#### 【地域資源】

##### （1）多様な産業の集積

江別市の産業は、卸売業・小売業を核とした第3次産業が中心であるが、農業や食品製造業、機械製造業、大学を中心とした教育関係産業など、特色ある産業が集積。

##### （2）医療・介護サービスの充実

市内には、江別市立病院をはじめとする6つの病院が立地。各種診療所も多数存在し、また、必要に応じて隣接する札幌市の医療機関で高度な専門治療を受けることも可能。

##### （3）自然豊かな住環境

道内最大河川の石狩川が流れ、夕張川、千歳川、豊平川などとの合流点。南西部に広がり市域の10%を占める野幌原始林。

##### （4）大学の集積

江別市内には現在、酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学の4大学が立地。

### 2. 課題

- ・合計特殊出生率1.06%と近隣自治体の中で最も低い。
- ・人口の年代構成に偏り 　　　　　 など

## 第3章 計画対象地域における事業・取組

### 1. 全体概要

- (1) すべての江別市民が市外に転出することなく、生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現。
- (2) 若年層や高齢者、障がい者などを含めた多様な主体との交流。
- (3) 大学等の地域の特色ある地域資源を活用することで、様々な地域課題の解決に寄与する仕組みを構築。

### 2. 事業実施地域の全体イメージ

市民が市外に転出することなく生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現を目指し、特色ある社会資源を十分に活用することで、アクティブシニアや障がい者が就業、ボランティア等に携わり市内で活躍。

### 3. 個別の事業・取組内容

- (1) 中高年齢者の就業、生涯にわたる学習活動への参加その他の社会的活動への参加の推進を図るために行う事業に関する事項

#### 【就業の推進】

##### ア 事業概要

中高年齢者が、拠点エリア内に住まいながら安定して就業できる環境を整備。また、就業先等についての積極的な情報提供やマッチングを実施するためハローワークと連携。

##### イ 具体的内容

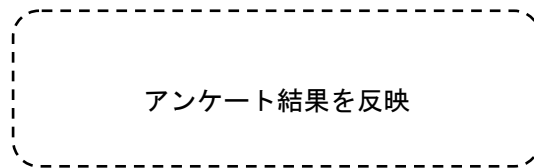
アンケート結果を反映

#### 【生涯にわたる学習活動や社会的活動への参加】

##### ア 事業概要

中高年齢者の多様化するライフスタイルやニーズに対応した学習機会や社会的活動の場を提供。また企業主導型保育施設等と連携した、世代を超えた交流を実現させることによる、社会的活動の活発化。

イ 具体的内容

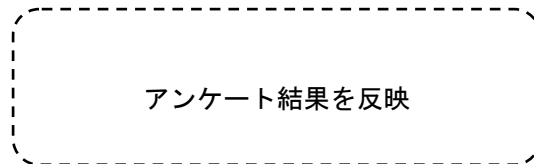


(2) 中高年齢者向け住宅に関する事項

ア 事業概要

拠点エリア内に、江別市内を中心に「住み替え」を検討しているアクティブシニア層を対象としたサービス付き高齢者向け住宅を建設。

イ 具体的内容



(3) 保健医療サービス・福祉サービスに関する事項

ア 事業概要

(ア) 拠点エリア内に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設（老健）、看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備し、包括的かつ継続的な医療・介護を提供し、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制を構築。

(イ) 障がい者就労継続支援A型事業所及び障がい者就労訓練グループホームを整備・運営することで、障がいのある方に活躍してもらい、すべての人が分け隔てなく暮らせる環境を構築。

イ 具体的内容



(4) 移住を希望する中高年齢者の来訪及び滞在の促進を図るために行う事業に関する事項

ア 事業概要

生涯活躍のまちの施設、サービス内容等の情報発信や、移住に関する相談にきめ細やかに対応できる体制を整備。

イ 具体的内容

(5) 子育て支援に関する事項

ア 事業概要

職員の就労と子育ての両立を支援するため、拠点エリアの施設内で保育園（企業主導型保育事業）を開設するとともに、地域枠として一部を開放し、地域住民の保育需要にも対応。

イ 具体的内容

(6) その他の地域住民が生涯にわたり活躍できる魅力ある地域社会の形成を図るために行う事業に関する事項

ア 事業概要

地域にある社会資源（市内4大学、商店街、自治会等）を活用しつつ、魅力ある地域社会を形成。

イ 具体的内容

アンケート結果を反映

## **第4章 計画に基づく特例**

### **1. サービス付き高齢者向け住宅の入居要件の特例**

市として、アクティブシニアの定住推進及び市外への転出を抑制するため、生涯活躍のまち形成事業計画によるサービス付き高齢者向け住宅の入居者要件を設定。

## 第5章 計画の成果目標の設定

### 1. 目標の設定

#### (1) 目標

数値目標	2018年 (基準年)	2019年 (1年目)	2020年 (2年目)	2021年 (3年目)	2022年 (4年目)	2023年 (5年目)	KPI増加分 の累計
【目標1】 拠点エリアにおける居住者・入所者数（人）	0	0	70	173	5	5	253
【目標2】 拠点エリアにおける雇用人数（人）	0	0	145	165	10	10	330
【目標3】 拠点エリアで受け入れたボランティア人数（延べ）	0	0	0	50	50	50	150
【目標4】 健康増進プログラムに参加した人数（人）	0	0	0	50	50	50	150

#### (2) 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、江別市地域再生協議会において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行い、結果については、江別市ホームページ等において、公表を行う。

（各数値目標については事業者が毎年度3月31日時点で業務取得により把握する）

## 2. スケジュールについて

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度